

院内事例研究発表会

平成17年3月22日、教育委員会主催による院内事例研究発表会が行われました。

この会は、各病棟で抱えている問題・課題を取り上げ、数か月に渡り調査・データ化し、資料の作製・発表・講評までを看護師・介護士のグループ単位で行う、病院内での研究発表会です。



北3階、北2階、南2階、外来の各グループの取り組んだ内容から、病棟の現状や工夫している点が明らかになり、質疑応答が盛んに交わされ、質問を受ける側は、研究で得た成果を自信を持って提供しているようでした。

院長先生より「事例研究として病院外での発表会にも参加出来るようなテーマが多かったですね。」との感想をいただきました。

研究をきっかけに、各職員が出来る所から業務に活かしていき、ケアの向上にも繋げていきましょう。

(リハビリ科・吉田)

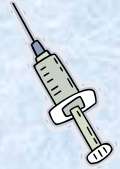




南病棟の紹介

南病棟は、急性期治療を受けられる患者様が入院される病棟です。

私たちスタッフ一同、患者様の一日も早いご回復のため、また患者様と御家族様に安全で安楽な入院生活を送っていただけるよう、日々努めています。



外来送迎・病院案内職員を紹介します。

案内係 篠崎 久仁子

笑顔で患者様をお迎え出来るように頑張ります。



外来送迎係

※ 写真右より

小島 良一

安全運転を心がけます。

小島 昭男

患者様への心配りを忘れないように頑張ります。

田沼 正美

患者様の安全を第一に考え、頑張ります。

ピアノとフルートのコンサートより～



3月9日当院の外來7フロアにて第1回院内コンサートが催されました。午前と午後の部の2回行われ、外來の患者様や入院されている患者様に大変好評でした。今後も定期的を開催する予定です。
開催日はポスターや掲示板にてお知らせ致しますので次回を楽しみにして頂いて下さいね。
(川島や)

Dr内田写真館

真岡鉄道 北真岡付近

この場所は線路沿いに、約1km、桜並木と菜の花の植え込みが続く場所です。春の一時期、両者が一気に咲き乱れます。ここで保存運転されるSLにとってまさに「花道」と言えるでしょう。
(内田)



「認知症」という言葉をご存知ですか？

痴呆という言葉は偏見や誤解を与えてしまうことがあるとの理由で、厚生労働省は平成16年12月24日より痴呆症の一般的名称を「認知症」へと変更しました。名称は変わりましたが、主な症状は変更以前と同様に記憶力の低下、見当識障害、妄想、せん妄などが挙げられます。(ただし医学的名称として用いられるアルツハイマー型痴呆、脳血管性痴呆については従来通り痴呆と呼びます)。

病院からのお知らせ

病院東側の空き地で、管理棟建設のための工事が近日始まります。(西條)

編集後記

年度が変わり広報委員の顔ぶれも新しくなりました。親しみやすく分かりやすい新聞作りを目指します！

(広報委員会)



季節の料理



鯛の桜しんじょう



材料（1人分）

鯛三枚おろし（皮なし）60g
 大和芋・・・・・・・・・・25g
 砂糖・・・・・・・・・・0.5g
 塩・・・・・・・・・・0.5g
 桜の葉塩漬・・・・・・・・4枚



作り方

- ① 塩漬の桜の葉は塩ぬきします。
- ② 大和芋は、皮を向き水につけてアクを抜き、おろし金ですりおろしさらにすり鉢でよくすっておきます。
- ③ 鯛は細かく切ってからすり鉢でよくすります。（最初からすり身を買っても良い。）
- ④ すった鯛に大和芋と調味料を加え、すり合わせます。
- ⑤ すり身は2個の木の葉形に形を整えて、上下を桜の葉で包み蒸します。



一言アドバイス

花祭り・お花見など春の行事食に最適です。桜の葉を笹に代えて端午の節句に用いたり、鯛をヒラメに代えてみたり・・・他に桜の葉以外にも、柿の葉や椿の葉で包んでみたりと、応用のしやすい一品です。

③の鯛をすりおろす作業はフードプロセッサーを用いると簡単に出来ます。また中等度口腔障害のある方にも食べていただけます。

鯛の栄養について

脂肪酸の中でも特にコレステロール低下作用が期待できるオレイン酸・イコサヘキサエン酸（IPA）・ドコサヘキサエン酸（DHA）を豊富に含みます。積極的に摂りたい魚の1つに挙げられます。

